

平成27年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	全体事業概要と目的	採択年度	完了年度 総事業費		事業の効果	事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化	事業を巡る社会経済情勢等の変化	県民の意見	今後の課題
						前回	前回					
						最終	最終					
かんがい排水事業	501	鈴鹿川沿岸	鈴鹿市	【全体事業概要】 全体事業費:8,373百万円 ・揚水機場 2ヶ所 ・用水路整備 L=23.0km FRMP φ600～φ1650	H4	H14	8,200	①事業完了後、認定農業者の増加や、農地集積が進み、農業経営の合理化が進みました。 ②費用対効果 $B/C=1.23>1.0$	・アンケート結果からも事業実施前後の自然環境は大きく変わっていないことが伺えます。	上段:認定農業者数 下段:農地集積面積 平成14年 22人 62ha 平成26年 29人 605ha	地区内の住民に対しアンケートを行いました。 ・事業及び施設の認知度が78%程度となった。 ・農業面での効果は、全体の75%程度の方が良くなったと回答。 ・事業を契機に農業際などの地域活動が盛んになった。	農地集積は進んだが、新たな課題として、農業に携わらない人の増加に伴う農業離れにより、地域で一体となった活動が難しくなっており、地域全体で農業を支えていく仕組みづくりが課題となっています。
				【事業目的】 水路のパイプライン化により、水管理を省力化することで、優良農地を適切に維持保全し、安全安心な食料生産につなげていくことを目的としています。		H20	8,373					
湛水防除事業	502	西黒部	松阪市	【全体事業概要】 全体事業費:2,637百万円 ・排水機場の増設 φ1500×330ps×2台 (縦軸斜流ポンプ) ・排水路の改修 L=2,908m	H4	H17	1,831	①事業完了後、湛水による農地や人家等への被害は発生していません。 ②費用対効果 $B/C=1.03>1.0$	・工事の施工時には、汚濁防止フェンス等の濁水対策を行いました。 ・アンケート結果からも事業実施前後の自然環境は大きく変わっていないことが伺えます。	上段:認定農業者数 下段:農地集積化率 平成19年 119人 21.7% 平成22年 135人 22.7% 平成26年 163人 26.7%	排水機場の受益内の住民に対しアンケートを行いました。 ・事業及び施設の認知度が45%程度となった。 ・農業面での効果は、全体の7割程度の方が良くなったと回答。 ・「安全・安心感が増した」、「排水が良くなった」、「道路の冠水がなくなった」などの意見があった。	南海トラフ地震発生の可能性が高まっており、排水機場への耐震化が必要です。
				【事業目的】 大雨による湛水被害から排水機場の設置により農地及び人家等を守る目的で事業を実施した。		H21	2,637					

平成27年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	全体事業概要と目的	採択年度	完了年度 総事業費		事業の効果	事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化	事業を巡る社会経済情勢等の変化	県民の意見	今後の課題
						前回	前回					
						最終	最終					
地域水産物供給基盤整備事業	503	舟越	鳥羽市答志島	<p>【全体事業概要】 1号防波堤(L=142.5m) 2号防波堤(L=194.9m) 1号突堤(L=60m) 2号突堤(L=48.5m) -3.0m泊地浚渫(A=5,597㎡) -3.0m岸壁(L=426.9m) 浮棧橋(N=1.0基) 道路(1)(L=634.9m) 道路(2)(L=410m) 関連道(L=1,222m)</p> <p>【事業目的】 答志島には3つの漁港があるものの、荒天時には安心して停泊できる岸壁が不足していたことや、離島という地理条件により漁具干場等の漁港施設用地が不足していたことから、主要産業である漁業活動に支障を来していました。 そこで、これらを改善するため、答志島の北側に舟越漁港を整備し、防波堤等により港内静穏度を確保し、さらに岸壁・用地整備等により漁業作業環境を整えることにより、漁業活動の効率化及び安全性の向上を図るとともに、島内の避難港を整備しました。</p>	H22	5,006	<p>◆費用便益費 B/C=1.60</p> <p>・避難港整備による避難時間・経費の削減 ・のり共同加工場委託による摘採量の増加 ・係留作業状況の改善(労働環境改善) ・災害時の避難経路及び避難場所の確保 ・住民の交流促進とコミュニティーの醸成</p> <p>◆その他の効果 ・漁船係留や漁船上下架作業時の安全性向上 ・海苔漁業者の労働力軽減による持続性向上</p>	<p>◆環境面への配慮 舟越漁港に防波堤を整備したことにより、前面の消波ブロック・被覆石を基盤として藻場が創出されました。</p> <p>◆環境の変化 ＜良い環境の変化＞ ナマコやタイ・スズキ・メバル等の根付きの魚が漁獲されており、新たな生物生産の場として機能しています。 また藻場は、水質浄化等の自然環境の保護・修復する機能を持っていることから、水質浄化効果が発現されています。</p> <p>＜悪い環境の変化＞ 自然がなくなり、アサリ等の貝掘りができなくなったというアンケート回答がありました。</p>	<p>◆漁業生産の状況 H6年に整備を開始してから、以下のように、答志島の水産業の情勢は変化しました。 ① 魚価の低迷、燃油の高騰 ② 漁業者の高齢化と後継者不足</p> <p>◆答志島3漁港の状況 全国、三重県、答志島3漁港の漁船隻数の推移、陸揚金額の変化、漁業従事者の変化について、H5年を1とした比率で見ると、全国、三重県全体に比べ、漁船隻数、漁業従事者の減少割合は、答志島3漁港のほうが低い傾向にあります。特に漁業従事者数は、平成5年に対して8割を維持しており、全国・三重県の5～6割を上回ります。また、答志島3漁港の漁業従事者(正・準組合員数)は586人(H25)と、人口の約3割、就業者数の約4割を占めています。製造業、観光業等も、漁業があつてこそその業種です。漁業者自らが、養殖、藻場再生等を積極的に実施し、今後の発展のための取り組みを行っています。 答志島では、漁業が盛んで、島の基幹産業であり、水産業、すなわち島の生活の発展につながる、漁業整備等の水産基盤の整備・環境保全が必要です。</p>	<p>◆アンケート調査結果 当漁港の利用者及び背後住民を対象に実施したアンケートを実施しました。主な意見は次のとおりです。</p> <p>◇舟越漁港の整備についての意見 約6割の漁業者が以前より使いやすくなったと回答しています。</p> <p>◇舟越漁港及び関連道の利用目的についての意見 漁業者は、9割が漁業作業及び荒天時避難、1割が水産加工で、漁港を利用していると回答しています。 また、関連道は、6割が漁業目的、4割が余暇・生活道路として利用しています。</p>	<p>◆今後の漁港整備 舟越漁港は、答志島全体における水産物の安定供給を実施するために、答志島港、和具(答志)漁港、桃取漁港それぞれの漁港における課題として、避難場所、多重係留、生産力向上等を解消するために整備を進めてきました。 現状、島内避難場所としての機能や答志島港の多重係留は改善されてきましたが、和具(答志)漁港や桃取漁港の舟越漁港利用による生産力向上等につながる拠点整備は十分解消されておらず、課題となっています。</p> <p>今後、課題への対応として、以下の事項について、検討を進めていきたいと考えております。 ①答志支所、和具(答志)支所、桃取支所の漁業活動拠点(防災拠点)としての整備。 ②舟越漁港と桃取漁港との間の関連道路の整備。</p>	
					H21	5,667						

平成27年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	全体事業概要と目的		採択年度	完了年度		総事業費	事業の効果	事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化	事業を巡る社会経済情勢等の変化	県民の意見	今後の課題
				前回	前回									
				最終	最終									
地域水産物供給基盤整備事業	504	神島	鳥羽市神島	<p>【全体事業概要】 護岸工(L=765.1m) 護岸工(改良)(L=260m) 突堤(1)(L=40m) 突堤(2)(L=12.5m) 南防波堤(L=70m) 自然調和型防波堤(1.0式) 防波堤撤去(L=140m) -2.0m泊地(A=245㎡) -3.0m泊地(A=2,720㎡) -3.0m泊地(A=5,076㎡) -3.0m岸壁(L=130m) -3.0m岸壁(1)(L=64m) -3.0m岸壁(2)(L=124m) -3.0m岸壁(蓋蓋)(L=61m) -3.0m岸壁(改良)(1.0式) 浮棧橋(N=1.0基) 船揚場(1)(1.0式) 船揚場(2)(1.0式) 道路(L=497m) 用地(A=6,168㎡)</p>		H21		7,339	<p>◆費用便益費 B/C=1.31 ・港内静穏度向上による避難回数の削減 ・用地確保による作業の効率化 ・係留施設整備による労働環境の改善 ・定期船利用客の利便性の向上 ・救急搬送時間の短縮</p> <p>◆その他の効果 ・漁船係留や漁船上架作業時の安全性向上 ・一般利用客の安全性の向上</p>	<p>◆環境面への配慮 神島漁港の外郭施設に自然調和型マウンドを整備したことにより、前面の石積みマウンドを基礎として新たな藻場が創出されました。</p> <p>◆環境の変化 <良い環境の変化> 現在、アラメ・ワカメ・クロモ・ホンダワラ等が繁茂しており、イワガキ・アビ・イセエビ・スズキ・タイ等の生物生産の場として機能しています。神島のイワガキは、整備後の自然調和型マウンドで漁獲されるものであり、イセエビ等は資源保護の観点から禁漁としているため、水産物の餌場、隠れ場・休息場、産卵場として、増殖効果が得られています。</p> <p>また藻場は、水質浄化等の自然環境の保護・修復する機能を持っていることから、水質浄化効果が発現されています。</p> <p><悪い環境の変化> 便利になったものの、海の風景が悪くなったと感じる島民もいます。</p>	<p>◆漁業生産の変化 H6年に整備を開始してから、以下のように、神島の水産業の情勢は変化しました。</p> <p>① 魚価の低迷、燃油の高騰 ② 漁業者の高齢化と後継者不足 しかし、このような状況は神島に限らず全国でも同様の傾向であり、水産業の衰退が問題となっています。</p> <p>◆神島漁港の状況 全国、三重県、神島漁港の漁船隻数の推移、陸揚金額の変化、漁業従事者の変化について、H5年を1とした比率でみると、全国、三重県全体に比べて、漁船隻数、漁業従事者の減少割合は、神島漁港のほうが低い傾向があることがわかります。特に、漁業従事者数は、人口約400人に対して、漁業従事者(正・準組合員数)が人口のほぼ半数を占めており、神島の基幹産業となっています。今後、水産業を持続し、島の生活を支えるために、漁業整備等の水産基盤の整備・環境保全が必要です。</p>	<p>◆アンケート調査結果 当漁港の利用者及び背後住民を対象に実施したアンケートを実施しました。主な意見は次のとおりです。</p> <p>◇漁港利用者の意見 約7割の漁業者が、以前より良くなったと回答しています。</p> <p>◇地域住民の意見 漁業関係者以外では、約6~7割が以前より良くなったと回答しています。</p>	<p>◆今後の漁港整備 神島漁港は、地域の主産業である漁業活動の拠点、生活物資搬入などの島民生活の拠点として、重要な役割を果たしていますが、漁業者の減少と高齢化、漁港施設の老朽化など多くの課題があります。</p> <p>現在、漁業者の減少と高齢化という課題はあるものの、品質の高いタコ、タイ、イワガキ等の生産性は維持されていることから、今後は漁港施設の機能強化や保全及び維持管理を推進していきたいと考えております。</p> <p>① 高齢漁業者が安全に作業ができる係留施設(岸壁)等の整備 ② 漁業後継者の獲得を目指し、安定した漁家所得につながる漁港整備(機能強化) ③ 老朽化の進む既設施設の維持・保全</p>	
								H21		7,750				